

以下記載につき訂正いたします。(2015年8月4日更新)

- ・ p. 91 「2.1 知覚感度」1段落目 5行目  
(誤) 「一般に、全ての身体の部位は冷刺激より温刺激に敏感で、・・・」  
(正) 「一般に、全ての身体の部位は温刺激より冷刺激に敏感で、・・・」
  
- ・ p. 93 「2.2 空間特性」2行目  
(元) 「空間加重は、温度刺激の強度と空間範囲が、閾値や閾上の感覚を維持するように変換されることを意味する。」  
(新) 「空間加重は、温度刺激の強度と面積が、閾値や知覚強度を維持するように変換されることを意味する。例えば、刺激の強度が弱くても面積が広ければ閾値は同等となる。」
  
- ・ p. 95 「2.3 時間特性」2段落目 1行目～  
(元) 「温度刺激の継続時間と強度は、閾値や閾上の感覚を維持するように交換される。」  
(新) 「温度刺激の継続時間と強度は、閾値や知覚強度を維持するように変換される。」
  
- ・ p. 95 「2.3 時間特性」2段落目 6行目～  
(元) 「温覚閾について、刺激の継続時間と強度は、相互に交換される。」  
(新) 「温覚閾について刺激の継続時間と強度は相互に変換され、強度が弱くても継続時間が長ければ温覚閾は同等となる。」
  
- ・ p. 96 「3.1 温冷覚と触覚の相互作用」8行目および11行目  
(誤) 「サーマルリファレル」  
(正) 「サーマルリファラル」

以 上